

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 7 月 18 日 報告者：玉置 左弥

行事種別	講演会	行事番号	230002861
開催日	令和 5 年 7 月 15 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール (所在地 名古屋市)		
テーマ	臨床検査技師が知っておきたい乳腺のこと ～検査から治療まで～		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	愛知医科大学病院 淀川 千尋		
講 師	1. 乳腺超音波検査の基礎 豊川市民病院 星川あすか 2. 乳がん診療の実際 岡崎市民病院 乳腺外科 がんセンター長 村田 透		
内 容	乳がんは女性が患うがんの中で最も多く、罹患率は年々増加傾向にある。今回、「臨床検査技師が知っておきたい乳腺のこと～検査から治療まで～」というテーマで講演会を企画した。 講演 1「乳腺超音波検査の基礎」では、検査体位や画面の設定方法、検査時の注意点や走査方法、解剖の説明など乳腺超音波検査を行う上で基本的なことや乳腺腫瘍の評価方法、乳腺腫瘍や非腫瘍性病変を超音波画像と病理組織像を対比して説明した。症例提示では、マンモグラフィ画像、超音波検査画像を提示し、参加者に良悪性の判断を考える時間を設け、病理組織結果を提示し、症例についての解説をした。乳腺超音波検査で乳腺腫瘍を判断する際には、組織像を考えながら、検査を行うことが大切であるということを確認した講演であった。 講演 2「乳がん診療の実際」では、乳がんの診断と超音波検査の役割、薬物治療について、岡崎市民病院での乳腺医療の取り組み（乳腺外科におけるチーム医療、診察・検査の待ち時間問題、遺伝性乳がん卵巣がん症候群：HBOC）について講演していただいた。超音波検査は乳がん診療において大きな役割を担っているとのことであった。乳がん診療についての理解が深まる内容であった。 参加者アンケートでは、86.6%の方から講演内容に満足したとの回答が得られた。		
参加者	総数：66 名（会員 66 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：81 名		
共催、後援など	なし		